平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	大野山乳牛育成牧場
２１５ ※記入不要		

要望問題　大野山牧場周辺の野生シカのピロプラズマ病原虫の感染状況及び牧場内への侵入防除法の検討

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

背景及び内容：当牧場は、西丹沢山塊に位置する標高７００ｍの大野山山頂周辺を放牧地として乳牛を育成預託しているが、これまで放牧病でやっかいなピロプラズマ病の発生防止に全力を注いできた。現在フタトゲチマダニ（以後ダニ）の駆除法としてフルメトリン製剤による牛体への塗布を実施しているが、感染時期はばらつき遅れる傾向にあるものの、毎年ほぼ全頭感染する。まだピロ原虫保有ダニの撲滅には至っていない。また、牧場内へは年間を通してシカが侵入しており、同じ偶蹄目のシカへの感染が疑われ、もし牧場周辺のシカでの感染が認められるなら、これらのシカを介してピロプラズマ病原虫を保有したダニの維持、拡散が懸念されるが、現状把握は全く行われていない。

一方、シカにとって牧場内の牧草は高栄養飼料の供給源となっており、一部牧草収量に影響を与えているのではないかと推測される。また、急激に牧草のなくなる冬季には、周辺山林植樹木への被害も懸念される。

そこで、牧場周辺のシカのピロプラズマ病原虫の感染状況調査とシカの個体数増加による影響を軽減するための牧場内への侵入防除法について検討していただきたい。

解決希望年限	①１年以内　**②２～３年以内**　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	**①研究所対応**　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） **⑨自然環境保全センター**

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター研究部
部　　署：森林保全グループ	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　**⑥現地対応**　**⑦実施不可**
試験研究課題名　（①、②、④の場合）	

対応の内容等

○牧場周辺のシカのピロプラズマ病原虫の感染状況調査

当該調査は衛生的見地から調査する必要があると思われるので、衛生研究所、畜産研究所との連携が必要と思われます。自然環境保全センターでできることは、シカの行動圏を把握すること、シカを捕獲した際に血液を採取すること（分析は衛生研か畜産研）、及び、現在実施中の丹沢大山総合調査でダニの研究者がいますので、その方に丹沢におけるフタトゲチマダニの分布状況を把握していただくこと、以上の３点を想定できます。

○牧場内への侵入防除法について

侵入防除法については、丹沢山麓部に設置した広域獣害防止柵（鋼製の柵）の効果が確認されています。シカを捕獲する方法も考えられますが、大野山牧場付近は鳥獣保護区であるために法的に難しいこと、また近隣地で捕獲するにしてもゼロにすることは現実的に難しいです。そのため、牧場の周囲にシカ侵入防止の柵を設置することをお勧めします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	